

市報やまぐち

2016

2/1

February
No.248



特集 今から始める、浸水対策

表紙 バスの乗り方、もう分かるよ ～公共交通機関を利用しよう～

今から始める、浸水対策 —みんなの力がまちを救う—

平成 21 年 7 月の豪雨災害の様子。水路があふれ道路との境目がわからなくなった。(大蔵)

表 1 「総合浸水対策計画」 対策の 3 本柱

対策の 3 本柱	具体策
ためる	雨水貯留施設の整備、透水性舗装の整備、学校・公園・公共施設・各戸での貯留・浸透の推進など
ながす	低地等への流入抑制、河川の改修・しゅんせつ、雨水ポンプ場の整備など
そなえる	防災情報の確実な伝達と把握、他自治体や事業所との協定、自主防災組織の訓練、ハザードマップの周知・理解

山口市総合浸水対策計画では、人的被害の回避や、市民生活・社会経済活動への深刻なダメージを軽減するため、表 1 の 3 本柱により浸水対策を進めています。市民の皆さんには、次のような協力

みんなができる
「ためる」「ながす」「そなえる」

これまでの浸水対策は、雨水排水施設の整備など、「防災」の視点で進めてきました。しかし近年のゲリラ豪雨や、都市化に伴う農地の減少などにより雨水流出量が増大し、これまでの施設整備だけでは災害を防ぎきれない状況になってきています。こうしたことから、本市では、「防災」だけでなく、被害を軽減する「減災」にも取り組むこととしています。今回の特集は、みんなでできる「減災」への取り組みをご紹介します。

☎ 083・933・6690
下水道整備課

をして頂くことで、より効果的な減災につなげることができます。

「ためる」対策としては、各ご家庭などで雨水をためることがあげられます。市では雨水貯留槽や雨水浸透ますを設置される場合の補助金制度(表 2 参照)を平成 27 年 8 月から始めました。使わなくなった浄化槽を雨水貯留槽として利用したり、屋根に降った雨をタンクにためたり、ますから地面にしみこませたりするもので、河川への雨水の流入を抑え、ためた水は庭木の水やりなどに利用できるなど節水の効果もあります。

「ながす」対策としては、水路の清掃などがあげられます。枯れ葉やごみなどを取り除くことで、河川へ水が流れやすくなり、低地への雨水の逆流を防ぐ効果があります。

「そなえる」対策としては、自主防災組織などの訓練への参加があげられます。訓練に参加して、いざというときにどう避難するかを事前把握することで、人的被害を減らすことができます。

一人ひとりの意識が地域を救う

河川の整備やポンプ車の配備だけでは近年のゲリラ豪雨には太刀打ちできません。地域や個人による災害から身を守る地道な取り組みが、地域の防災力を高めます。

次のページでは、災害を「減らす」取り組みをされている方々の事例を紹介します。降雨が少ない今の時期こそ、減災対策を始めませんか。

表 2 山口市雨水流出抑制施設設置補助制度

施設種別	規格	補助率	補助限度額	設置数の限度
雨水貯留槽	地上設置型	貯留容量が 0.1m ³ 以上 0.3m ³ 以下のもの	資材費の 4 分の 3	地上設置型、地下埋設型にかかわらず計 2 基まで
	地下埋設型	貯留容量が 0.3m ³ を超え 1m ³ 以下のもの	工事費の 4 分の 3	
浄化槽転用雨水貯留槽	公共下水道供用開始日から 3 年以内のもの	工事費の全て	10 万円 / 基	1 基まで
	公共下水道供用開始日から 3 年を超えるもの	工事費の 2 分の 1	5 万円 / 基	
雨水浸透ます	新設住宅等に設置する場合	資材費の 4 分の 3	1.5 万円 / 基	5 基まで
	既設住宅等に設置する場合	工事費の 4 分の 3	2.5 万円 / 基	

事例1 ためる

「浸水対策と節水に、貯留槽で一石二鳥」



▲雨水貯留槽にたまった雨水を
じょうろに入れている様子

雨水流出抑制施設設置補助制度を活用して、実際にご自宅に雨水貯留槽を設置された小郡（大正上）の中島徳雄さん宅に伺いました。

中島さんが雨水貯留槽を設置しようと思ったきっかけは平成21年7月の豪雨でした。玄関先まで浸水があり「土嚢をついて防ごうと思ったがあっという間に水が迫ってきた」と中島さん。災害体験が浸水対策の関心を高めたそうです。

購入された雨水貯留槽は地上設置型で、屋根に降った雨を雨どいを通じて

貯留槽に集めるものです。近くのホームセンターで購入し、ご自分で設置されました。「雨の少ない時期は、たまった水をじょうろに入れて庭にまいている。節水にもなり助かっている」と中島さん。1カ月後には、玄関先の水やりにと、2つ目も設置されました。「補助制度の手続きは、設置前に申請して、設置したら領収書などを市へ提出するだけだった」。また「みんなで雨水をためることができれば河川に流れる雨水が減り、浸水被害も減るのでは」と話されました。

事例2 ながす

「河川清掃がまちづくりにも」

近年のゲリラ豪雨は、河川で雨水を流すことができる許容量をはるかに超え、私たちの住む住宅地まで雨水が逆流する事も珍しくありません。堆積した土や草、ゴミなどにより流れにくい状況はさらにこの問題を深刻化させています。市や県は川底にたまった土を取り除いていますが、河川の支流は無数に広がっており行政だけの対応では十分とは言いきれません。

朝倉中央町内会と元町町内会では平成8年から地域を流れる前田川の清掃を行っています。平成21年には「前田川をきれいにする会」を立ち上げ、毎年5月に河川の草刈り清掃を行っています。会長の鶴岡正佳さんは「平成25年7月の豪雨の時、川底から3mもある前田川が

雨でいっぱいになり溢れた。河川の傾斜が緩く水が流れにくい、この活動で少しでも河川の流れが良くなれば」と話しました。しかし清掃に参加される方の年齢層は高く、作業は決して簡単ではありません。「湯田は観光地にも近いので綺麗にしておきたい。あと何年続けられるかわからないができる限り続けていきたい」と話されました。

▶市の清掃月間に合わせて毎年清掃している



事例3 そなえる

「災害への知識を次世代に」

嘉川地域と佐山地域は、いち早く自主防災組織を立ち上げ、地域住民への危険箇所の周知や避難訓練などで災害時に備えています。平成26年度からは、川西中学校の1・2年生を対象に図上訓練を行うな



▶体育館に広げた地図を見ながら
災害時について話し合う生徒ら

ど、子どもに対する防災教育も積極的に行っています。地域内の危険箇所の把握やそれらが引き起こすリスクを平常時からイメージすることで、平常時の備えをより具体化するものです。

参加した生徒は、自分の住んでいる地域の地図にハザードマップの災害危険箇所を書き写し、自分の家がどこにあり、どのような危険がはらんでいて、災害時はどこを通過してどこに避難したら良いかなどを、地域の自主防災組織の方々と話し合っていました。嘉川の自治連合会自治部会長の竹本憲治郎さんは「今日の訓練を生かして、災害の時は近所のお年寄りの避難を手伝って欲しい」と話されました。

平成26年度

決算報告

平成26年度の決算が、昨年12月の平成27年第5回市議会定例会で認定されました。そこで、平成26年度の歳入歳出の実績について、市民1人当たりに置き換えてお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎083・934・2750
※市民1人当たりの換算額は、平成27年3月31日現在の人口19万3,827人を基に算出

市民1人当たりに換算すると
41万1,246円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

16万4,288円

市税 **13万4,779円**

諸収入

預金利子や市が融資した
貸付金の返済金など

1万174円

その他(分担金、負担金、
使用料、手数料、財産収入、
寄附金、繰入金、繰越金)

1万9,335円

国や県を経由する収入(依存
財源) **24万6,958円**

地方交付税

市町村間の財源の均衡を図
るため、国が交付するお金

8万6,116円

国庫支出金 一定の事業に
ついて、国が負担するお金

5万1,670円

県支出金 一定の事業につ
いて、県が負担するお金

3万967円

市債 市の借金

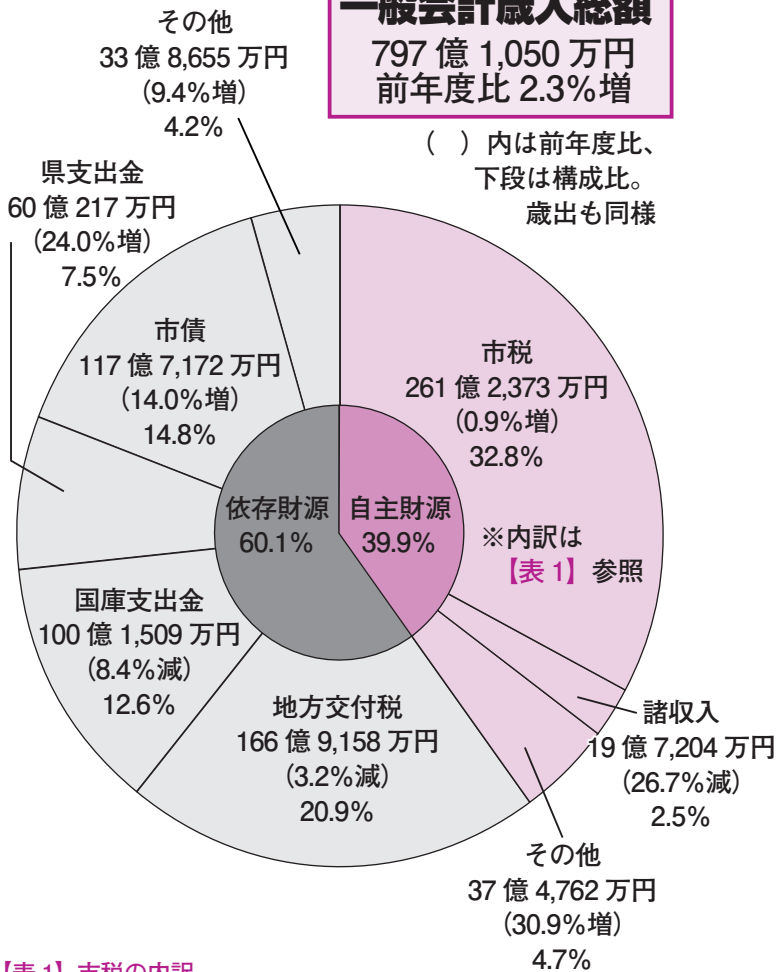
6万733円

その他(地方譲与税、交付
金等) **1万7,472円**

一般会計歳入総額

797億1,050万円
前年度比2.3%増

() 内は前年度比、
下段は構成比。
歳出も同様



【表1】市税の内訳

税目	平成26年度 決算額	市民1人当たり 金額	構成比 (%)	前年度比 (%)
個人市民税	95億461万円	4万9,037円	36.4	0.8
法人市民税	28億4466万円	1万4,676円	10.9	5.9
固定資産税	105億2,565万円	5万4,304円	40.3	0.3
軽自動車税	4億3,228万円	2,230円	1.6	2.8
たばこ税	12億7,458万円	6,576円	4.9	△2.7
鉱産税	1万円	0円	0.0	△75.0
入湯税	7,770万円	401円	0.3	△7.1
都市計画税	14億6,424万円	7,555円	5.6	△0.4
合計	261億2,373万円	13万4,779円	100.0	0.9

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源に、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

【歳入2.3%増、歳出2.8%増、
実質黒字約7億9,506万円】

平成26年度の決算額は、平成26年度当初予算額827億8,000万円に対し、歳入が797億1,050万円、歳出が782億7,229万円となりました(対前年度伸び率は、歳入2.3%の増、歳出2.8%の増)。

歳入から歳出を差し引いた14億3,821万円から、平成27年度へ繰り越した6億4,315万円を差し引いた7億9,506万円が、実質的な黒字になりました。

歳入

【市税2億3,000万円増、市債14億5,000万円増】

市税は、個人市民税や法人市民税の増により、前年度に比べ約2億3,000万円増の261億2,373万円になりました。

地方交付税は、個人市民税や法人市民税などの市税収入増により、約5億6,000円減の166億9,158万円に、国庫支出金は、地域の元氣臨時交付金の減などにより、約9億2,000円の減となる100億1,509万円になりました。

また、市債は、学校施設耐震化事業費などの増により、約14億5,000万円増の117億7,172万円になりました。

市民 1 人당にに使われるお金は
40 万 3,826 円

【内訳】



民生費

児童、高齢者、社会全体の福祉のために

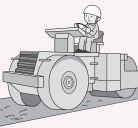
12 万 9,571 円



総務費

市の運営や地域の振興のために

6 万 2,393 円



土木費

道路や公園の整備などのために

4 万 7,077 円



教育費

学校、社会教育のために

3 万 1,862 円



衛生費

生活環境の充実のために

2 万 9,505 円



農林水産業費

農林水産業の振興のために

1 万 2,976 円



公債費

市債の償還のために

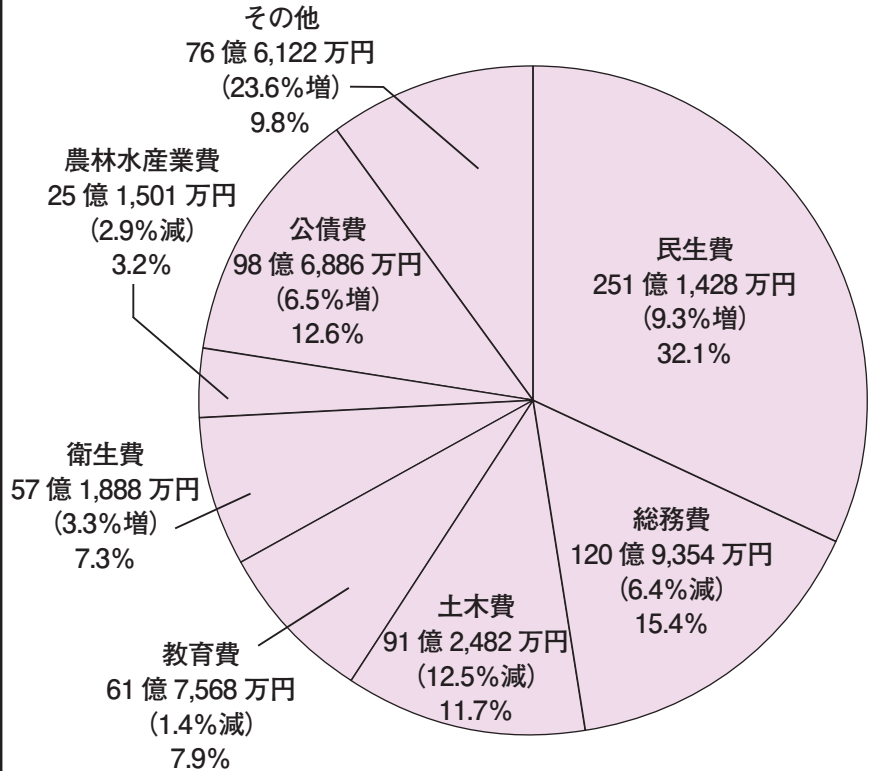
5 万 916 円

その他（議会費、災害復旧費、労働費など）

3 万 9,526 円

一般会計歳出総額

782 億 7,229 万円
前年度比 2.8% 増



【表 2】市債の状況

区 分	平成 26 年度末 現在高	市民 1 人당 現在高
一 般 会 計	956 億 6,361 万円	49 万 3,552 円
特 別 会 計	49 億 2,193 万円	2 万 5,393 円
合 計	1,005 億 8,554 万円	51 万 8,945 円
年 度 末 現 在 高 に 対 す る 利 息	82 億 721 万円	4 万 2,343 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

歳出

【民生費21億5千万円増、土木費13億円減】

総務費は、土地開発公社の解散に伴う代位弁済や退職金の減などにより、前年度と比べ約8億3千万円減の120億9354万円になりました。

民生費は、臨時福祉給付金給付事業費や市立保育園施設整備事業費の増などにより、前年度と比べ約21億5千万円増の251億1428万円になりました。

土木費は、新山口駅ターミナルパーク整備事業費の減などにより、前年度と比べ約13億円減の91億2482万円になりました。

その他は、平成25年に発生した阿東地域を中心とした豪雨災害による災害復旧費の増加やデジタル防災行政無線の整備による消防費の増加などにより、前年度と比べ約14億6千万円増の76億6122万円になりました。

このほか、公債費は、市債の※公的資金補償金免除繰上償還の実施などにより、近年償還額は減少傾向にありましたが、長期債元利償還金の増により、決算額は前年度と比べ約6億円増の98億6886万円になりました。

※今後、貸し手に支払う予定であった利子相当額に対する補償金の支払いが免除される繰り上げ償還の制度を利用し、後年度の利子負担を大幅に軽減しています。

・平成26年度市税の決算内訳は【表1】の通りです。

・平成26年度末の市債（借金）の状況は【表2】の通りです。

主な事業

総合計画の8つの政策に沿ってお伝えします。

① 支えあい健やかな暮らしのできるまち

子育て支援のネットワークづくりの拠点となる「やまぐち子育て福祉総合センター」を開設しました。

② いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち

市内二校で、タブレット端末を活用した授業を実証的に実施しました。

③ 安心・安全な暮らしのできるまち

「山口市総合浸水対策計画」を策定しました。

④ 自然環境と調和した暮らしのできるまち

小型風力発電設備を整備しました。また、木質バイオマスの普及促進を図りました。

⑤ 機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

新山口駅に南北自由通路および橋上駅舎の整備を進めました。また、一の坂川交通交流広場の整備を行いました。

⑥ 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち

足湯施設とカフェ機能を備えた、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」を開館しました。

⑦ ともに力をあわせてつくるまち

老朽化した地域交流センターの建替えに向けた建設設計等を実施したほか、大殿地域交流センターの増築工事を実施しました。

⑧ 市民の信頼に応える行政運営

山口市シティーセールス推進本部を立ち上げ、全庁的な推進体制の整備を行いました。

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など、特定の目的のため事業を行う場合に、保険料など特定の収入をその支出に充てるため、一般会計と区別して経理するものです。

平成26年度特別会計の歳入歳出決算は【表3】の通りです。

【表3】特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1人当たり歳出金額
国民健康保険	210億8,207万円	3.9%	203億6,595万円	4.1%	10万5,073円
後期高齢者医療	26億6,332万円	6.3%	26億4,638万円	6.2%	1万3,653円
介護保険	157億2,672万円	4.3%	155億5,473万円	4.2%	8万251円
介護サービス事業	6,211万円	8.5%	5,488万円	9.7%	283円
駐車場事業	5,752万円	△2.9%	3,883万円	1.0%	200円
小郡駅前第三土地区画整理事業	3億1,355万円	282.0%	3億1,355万円	282.0%	1,618円
簡易水道事業	3億6,536万円	△20.2%	3億6,530万円	△18.1%	1,885円
農業集落排水事業	5億435万円	△5.3%	5億435万円	△5.3%	2,602円
漁業集落排水事業	1,611万円	4.9%	1,611万円	4.9%	83円
地域下水道事業	466万円	△22.5%	425万円	△29.3%	22円
国民宿舎	3,021万円	△19.1%	3,021万円	△19.1%	156円
特別林野	1,816万円	97.0%	766万円	13.1%	39円
合 計	408億4,414万円	4.4%	399億220万円	4.4%	20万5,865円

山口市の財務諸表への取り組み状況について

従来の国や地方公共団体の会計制度は、単式簿記・現金主義といわれるもので、現金の出し入れが分かりやすい反面、これまでに形成してきた資産の状況（ストック情報）や、行政サービスを提供するために必要としたコストの状況（コスト情報）を表すことができませんでした。

そこで、本市では「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の財務書類を作成し、「ストック情報」や「コスト情報」がわかるように公表しています。

例えば「貸借対照表」からは、本市が整備してきた建物や公園、道路等の社会資本の状況やこれらを形成するために借り入れた負債の状況など（ストック情報）が把握できます。

※財務書類等の詳細については、ウェブサイトまたは、各総合支所情報コーナー等でご覧いただけます。

貸借対照表

平成26年度決算（普通会計ベース）

将来の世代へ引き継ぐ資産



公共資産 2,753 億円
公園・道路・学校・救急車など

+



投資等 277 億円
出資・基金など

+



流動資産 107 億円
現金や1年以内に現金化できる資産

資産合計 3,137 億円

将来の世代が負担するお金



固定負債 1,003 億円
市債・退職手当引当金など、翌々年度以降に支払う予定のお金

流動負債 94 億円
翌年度に支払う予定のお金

+

これまでの世代が既に負担したお金



純資産 2,040 億円
将来の世代が負担することなく引き継ぐことができる資産

負債・純資産合計 3,137 億円

市の財政ってどうなってるの？

山口市の台所事情 ～家計の 1 カ月分に例えると～

平成 26 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1 カ月分の金額は、26 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（）内は 26 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。

本市の普通会計には、一般会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計、小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計（一部）が含まれます。



収入		支出	
給料	21 万 8,000 円 ① (市税 261 億 2,373 万円)	食費・税金・社会保険料	11 万円 a (人件費 131 億 4,074 万円)
家賃収入	3 万 2,000 円 ② (使用料・手数料等 39 億 12 万円)	医療費・養育費	12 万円 b (扶助費 143 億 8,418 万円)
パート収入	3 万 9,000 円 ③ (地方譲与税、交付金等 46 億 7,488 万円)	光熱水費・電話代等	7 万 5,000 円 c (物件費 90 億 701 万円)
親などからの協力・援助	30 万 5,000 円 ④ (地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 366 億 4,103 万円)	子どもへの仕送り	5 万 7,000 円 d (繰出金 68 億 1,270 万円)
貯金の利子	3,000 円 (財産収入 3 億 5,885 万円)	町内会費、サークルや会合の会費	6 万円 e (補助費等 71 億 9,482 万円)
自宅増改築等のための借入れ	6 万 3,000 円 (市債〈臨時財政対策債を除く〉75 億 9,800 万円)	ローンの返済	7 万 9,000 円 f (公債費 94 億 7,605 万円)
貯金の取り崩し	1,000 円 (基金繰入金 1,198 万円)	自宅・借家の増改築、家電購入等	12 万 8,000 円 (普通建設事業費、維持補修費等 154 億 1,077 万円)
		貯金	2 万円 (積立金 24 億 3,320 万円)
収入合計 66 万 1,000 円 (合計 793 億 859 万円)		支出合計 64 万 9,000 円 (合計 778 億 5,947 万円)	

家計に例えると

給料などに加えて、親からの協力・援助を活用して家計を賄っています。

支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 30 万 5,000 円（a + b + c）、子どもへの仕送りが 5 万 7,000 円（d）、町内会費やサークル等の会費が 6 万円（e）、ローンの返済が 7 万 9,000 円（f）あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 50 万 1,000 円になっています。

一方収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 25 万円（① + ②）ありますが、これだけでは毎月の支出金額を賄うことができません。このため、毎月のパート収入 3 万 9,000 円（③）や親からの協力・援助 30 万 5,000 円（④）を活用してやりくりをしてい

ます。なお、毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。

- 今後の見通しと取り組み -

将来の財源不足に備えて行財政改革を推進

現状では、財源不足を補うような基金の取り崩しは行っていないが、合併による国からの財政支援措置が終了する平成 32 年度には、財源不足が生じる見通しとなっています。

市では、このような財政状況を踏まえ、「市財政運営健全化計画」を策定し、改めて歳入・歳出の両面から行財政改革により、持続可能で自立した財政基盤の確立を目指した取り組みを進めています。

「山口市の台所事情」や「市財政運営健全化計画」など、詳しくはウェブサイトに掲載（「山口市 財政」で検索）

ゴミ処理にかかった費用

28.8
億円

平成 26 年度の

ごみ処理の現状

☎ 資源循環推進課 ☎ 083-941-2173

ごみの収集
9 億 4,693 万円

可燃ごみの焼却
13 億 7,637 万円

資源物の選別・圧縮など
1 億 4,600 万円

不燃ごみの中間処理
2 億 5,228 万円

不燃ごみの埋め立て
1 億 5,893 万円

生ごみの水切りに ご協力ください



家庭から出されるごみの多くを占める生ごみは、約 8 割が水分であるといわれています。しっかり水切りを行っていただくことで、ごみの減量へつながります。

平成 26 年度のごみの量は、市民の皆さんのご協力により、前年度より約 1500 トン減少し、約 7 万 4500 トンとなりました。

また、ごみの収集や、焼却・中間処理・埋め立てに掛かった費用は、人件費や処理施設建設の減価償却費および起債償還利子を含め、約 28 億 8 千万円でした。

ごみは減っています

ごみの量は市民一人につき
1 日当たり 1,073g でした

金属・小型家電製品



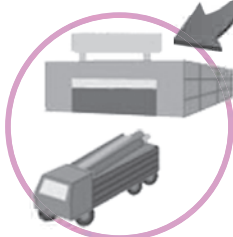
缶



ペットボトル



鉄筋等



製鉄材料



衣類等

市民の皆さんのご協力で、ごみの分別が進んでいます。回収した資源物は、売却して収入となったり、再生品として生まれ変わったりすることで、私たちの生活に役立てられています。

分別を心がけましょう

売却した主な資源物

資 源	回収量	売払金額
ペットボトル	400 t	2,243 万円
アルミ缶	230 t	4,017 万円
スチール缶	185 t	565 万円
新聞	2,139 t	1,686 万円
雑誌	1,564 t	1,233 万円
破碎鉄	149 t	428 万円
破碎アルミ	26 t	249 万円
金属・小型家電製品	1,283 t	2,551 万円

リサイクルで得た収入

1.4
億円

分別することが、ごみの減量にもつながります。皆さんのご協力をお願いします。



市政トピックス

■平成27年第5回市議会定例会を開催

平成27年11月30日から12月18日の間、「平成27年第5回市議会定例会」を開催しました。

市長は、山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進、本庁舎の整備に関する検討委員会、スペインのパンプローナ市との国際交流、レノファ山



定例会の様子

口FCのJ2リーグ昇格など、市政の概況について報告しました。また、平成27年度山口市一般会計補正予算や住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例、指定管理者の指定について、教育委員会の委員の任命についてなど計74の議案を上程し、審議の結果、すべて可決・同意されました。

なお、このたびの議会では、第4回臨時会に上程した平成26年度一般・特別会計決算に係る全ての議案も認定されました。

問 市議会事務局

☎0833・934・2854

■小郡図書館入館100万人達成

平成27年12月25日、小郡図書館が開館以来100万人目の来場者を迎え、セレモニーが行われました。

100万人目となったのは、小郡在住の河田博子さん。河田さ



セレモニーの様子

さんは「毎週利用している。新刊も多くて便利。100万人目ということに驚いた」と話されました。

小郡図書館は、平成20年11月に小郡総合支所の隣りにオープン。開館当初約5万点だった蔵書は現在約9万2千点に増加。利用者でつくる友の会「鉢の子」と連携して、定期的にイベントを開催しています。

問 小郡図書館

☎0833・973・0098

■トウルージュオ株式会社の進出が決定

平成27年12月24日、インターネットリサーチ業務等を行っているトウルージュオ株式会社（本社東京都港区）が、小郡黄金町に進出することを決定し、山口総合支所で本市と進出協定調印式を行いました。

調印式で市長は「本市基幹産業であるサービス産業の活性化と高度化へつながる。とりわけ若者の働く場所の創出に大きく期待している」と述べました。トウルージュオ株式会社の鶴代表取締役社長は「山口市に貢献しながら、特色ある事業を進めていきたい」と述べられました。

■地方創生に係る包括連携に関する協定を締結

平成27年11月26日、地方創生に係る新たな施策・事業を積極的に推進するため、株式会社山口銀行および株式会社YMF G ZONE プランニングと地方創生に係る包括連携協定を締結しました。

市長は「互いに連携を深められることは心強い。締結を契機に、地域の中小企業等の支援、若者の就業支



左から福田頭取、市長、矢儀社長

新事業所は、平成28年2月に開設予定で、今後地元を中心に20人が雇用される予定です。

問 産業立地推進室

☎0833・934・2813



左から市長、金子県企業立地統括監、鶴社長

援や雇用促進、都市核の機能強化などをさらに進め、魅力あるまちとなるよう地方創生を前進させたい」と述べました。

株式会社山口銀行の福田頭取は「成果を上げ、実のあるものになるよう全力を尽くしたい」と述べられ、株式会社YMF G ZONE プランニングの矢儀社長は「ネットワークを生かして活性化につなげ、山口を盛り上げていきたい」と述べられました。

市では今後も、地方創生の実現に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

問 企画経営課

☎0833・934・2782



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

ときわ公園梅まつり



■日時 2月28日(日)10時～15時

■場所 ときわ公園

【梅園クイズラリー】梅にちなんだクイズに答えると、ガラポンくじに挑戦できます。(先着300人)

【梅干しの種飛ばし世界大会】梅干しの種を飛ばした距離を競います。(小学生以下、中学生～大学生、一般の各部門で合計先着100人)

■問い合わせ 常盤公園管理課
☎ 0836-54-0551

防府市

防府お針祭り



縫針に対する感謝と裁縫の上達等を願う祭りです。古針、折れた針をお持ちください。当日はお針競技、和小物等の販売、甘酒の接待(先着300人)を開催します。中原中也記念館名誉館長福田百合子さんの記念講演もあります。

■日時 2月7日(日)10時から針供養

■場所 防府天満宮

■問い合わせ 防府お針祭り実行委員会 ☎ 0835-25-2148



市内の魅力を紹介します。

山口市

からくり×湯田温泉

本市在住アーティスト原田和明さんの作品展示会を行っています。ひとつひとつ手づくりされた「オートマタ(からくり人形)」は、見る人を笑顔にさせてくれるユーモラスな作品ばかりで、今回の展示のために制作された「山口」をテーマとした新作も展示されています。館内の足湯やカフェでゆったりとくつろぎながら、愉快的ひとときをお過ごしください。



【原田和明オートマタ展「山口物語」】

■期間 3月31日(木)まで ※観覧無料

■場所・問い合わせ 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」☎ 083-921-8818



誰もが集える場

認知症カフェ

☎ 高齢・障がい福祉課 ☎ 083-934-2758

お茶やお菓子を楽しみながら、リラックスした時間を一緒に過ごしましょう

認知症の方やその家族、地域住民など誰もが集い、交流できる場所「認知症カフェ」。専門スタッフが常駐し、認知症に関する相談もお受けしています。お気軽にお越しください。

※認知症カフェは、月1回程度開催しています。民間でも実施しており、ご紹介しているのは、市の補助制度(山口市認知症地域ケア推進活動支援事業費補助金)を活用している団体です。(いずれも利用料として1人100円が必要)

ぱけっとカフェ

☎ 083-952-1800

■営業時間 毎月第4水曜 10時～14時

■所在地 阿東地福 1886-1

■運営 NPO法人ほほえみの郷トイトイ

カフェかわばた

☎ 083-986-3765

■営業時間 毎月第2土曜 10時～15時

■所在地 銕銭司 5113

■運営 社会福祉法人梅光苑

カフェふしの

☎ 083-925-3731

■営業時間 毎月第3日曜 13時～15時

■所在地 矢原 997

■運営 認知症の人と家族の会山口県支部

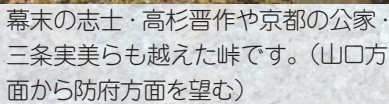
史見
歷癸

はぎおうかん

問 広報広聴課 **☎** 083-934-2753

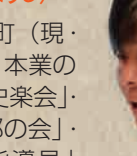
多くの人を迎え見送った鯖山峠

鯖山峠に来ますと、まず目をひくのが「郡境の碑」であります。「従是北吉敷郡（これよりきたきたぐしぐん）従是南佐佐郡（これよりみなささぐん）」と刻まれたこの碑は、享和2年（1802）に建てがえられたものです。実に200年以上もの間、風雪に耐えながら、この地で静かに道行く人を見守って来た、まさに歴史の生き証人です。



りょうじ)

錦町(現・
在、本業の
「長史楽会」
の会」・
護指導員」

A photograph of a man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and dark tie. He is holding an open book with both hands and looking down at it. The background is a plain, light-colored wall.

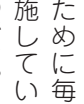
そして今、ここに佇むと、小鳥のさえずりが聞こえ、風がやさしく語りかけてきます。

※今回は「峠」の表記で統一しておりますが、山口県では、多くの場合、「とうげ」を「たお」と読んでおり、よく「峠」という字があてられます。

次回は、5月1日号を予定しています。

公共交通機関を利用しよう

公共交通教室は、バスに乗車した経験がない小学生が増えている中、バスに対する興味や親しみをもち、身近な存在として感じてもらうために、また、乗車時のマナーや交通ルールを学んでもらうために毎年実施しているものです。



小学生がバスに乗車する様子

この日教室に参加したのは小学2年生の児童たち。乗降練習のほか、クイズを通して、車内での過ごし方などを学びました。児童たちは「車と違って広くて乗り心地が良い」、「車いすの人も乗れるところがあるって驚いた」と興味津々でした。



クイズの



交通政策課

2月 イベント 3月 カレンダー



第1回景観写真
コンテスト大賞
「神秘的な五重塔」

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)				
	「山口市景観写真コンテスト」 応募作品の展示および市民投票 (～7日) (白石、小郡、秋穂、阿知須、 徳地、阿東) 都市計画課(☎ 083-934-2831)		企画展Ⅱ「中世の住んだ町ー 新宿」(～4月17日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)		公共交通ふれあいフェスタ (白石) 交通政策課(☎ 083-934-2729)
	やまぐち新進アーティスト大 賞ノミネート作品展(～7日) (大殿) 文化政策課(☎ 083-934-2717)			13 (土)	
	ムン・キョンウォン+ YCAM 「プロミス・パーカー 未来のパ ターンへのイメージネーション」 (～14日) (白石) 山口情報芸術センター[YCAM] (☎ 083-901-2222)		山口県読売駅伝 2016 (小郡、吉敷) 山口陸上競技協会事務局 (☎ 083-920-6125)	14 (日)	全日本実業団ハーフマラソン大会 (吉敷、湯田、白石、大殿、大内) 山口陸上競技協会事務局 (☎ 083-920-6125)
		7 (日)	おいでマルシェの坂 (白石) 実行委員会 (☎ 090-2312-0055)	19 (金)	市内一斉ノーマイカーデー (市内全域) 交通政策課(☎ 083-934-2729)
	企画展「鑄銭司発掘 50 年」 (～21日) (鑄銭司) 鑄銭司郷土館 (☎ 083-986-2368)	10 (水)	阿知須のひなもんまつり&ぶ ち街角ぎやらりー (～14日) (阿知須) 実行委員会(☎ 0836-65-2129)	21 (日)	 山口・名田島田園マラソン大会 (名田島) 実行委員会(☎ 083-972-6720)
	狐の足あとギャラリー 原田和明オートマタ展「山口 物語」(～3月31日) (湯田) 狐の足あと(☎ 083-921-8818)	11 休・祝	市民ロードレース大会 (秋穂二島) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)	23 (火)	企画展「山頭火句集『草木塔』 ができるまで」(～4月10日) (小郡) 小郡文化資料館 (☎ 083-973-7071)
			特別展「中世の山口を掘る」 (～3月27日) (白石) 歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)	27 (土)	企画展「四境戦争の策源地・ 山口」(～5月8日) (大殿) 山口市菜香亭 (☎ 083-934-3312)
				3/5 (土)	市美術展覧会 (～13日) (白石) 文化政策課(☎ 083-934-2717)

山口市長
渡辺純心

現在、本市では、人々の絆を支えられた、活力と温かみのある地域社会の実現を目指し、市民の皆様と「協働によるまちづくり」を進めています。
ぜひ、若い皆さんには、本市を「住んでよかった、これからも住み続けたい」、そう思えるような素晴らしいまちにするため、積極的に地域づくりや社会活動に参加していただき、その溢れるエネルギーと柔軟な発想力、困難を打ち破る突破力を感じる存分に発揮してほしいと思います。
そして「これが私の故里だ」と、誇りの持てる山口の未来を共に築いていきましょう。



暦の上では、立春を迎える頃ですが、まだまだ寒さ厳しい日が続いています。皆様には、体調管理に十分お気を付けいただきたいと思います。
さて、去る1月10日に成人式を開催しました。本市では、約2千人の皆さんが、新成人として新たな門出を迎えられました。心からお祝いを申し上げます。
これから、立派な大人、社会人として、地域や社会の中で大活躍されることを期待しています。